

キッコーマングループ 食育の取り組み

私たちは「食育」を「健やかで楽しい食生活をおくるために役立つ『食』に関わる情報・知識・体験を提供すること」と定義しています。食・食育への想いや推進方針、活動テーマを体系化し、コーポレートスローガン「おいしい記憶をつくりたい。」のもと、全社で活動を推進しています。



社員の想いを込めてつくった「食育体系図」



2005年5月「食育宣言」
(2005年6月 食育基本法公布 (同年7月施行))

取り組み代表例

事業活動に根ざした食育活動を継続し、食に関する情報・知識・体験をお届けし、食への興味や食の楽しさを育む活動に取り組んでいます。

【社員による出前授業】



キッコーマングループ社員が講師として小学校へ出向き、しょうゆ、みりん、トマト、豆乳をテーマにした出前授業を実施。子どもたちが積極的に参加し、五感を使って体験できるよう工夫しています。

【体験型の工場見学】



見学と体験を通して「食」への興味・関心を深めるお手伝いができるよう、小学生を対象に、しょうゆづくりを体験できるプログラムを設けています。

【オンライン料理教室】



親子でご参加いただくオンライン料理教室を開催。わかりやすく楽しめる料理体験の提供に加え、食や料理を通じたコミュニケーションの大切さを発信しています。

【食育教材の開発】



中学生向けの食育教材「和食のおいしさのヒミツ」を開発。和食に欠かせない調味料であるしょうゆを題材に、和食の良さを学ぶことができる教材です。